

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第7週の発生動向

全数報告の感染症（7週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：A 型肝炎 3 例。
5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎	発熱
			90 歳代	男	肺結核及び腸結核	下血
			60 歳代	男	肺結核	咳
4類	A型肝炎	宮崎市	10 歳代	女	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常
			20 歳代	男	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常
			60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30 歳代	男	AIDS	咳嗽、倦怠感、多発皮下膿瘍 指標疾患：ニューモシステス肺炎
			百日咳	日向	5~9歳	男
	0~4歳	男			—	持続する咳、嘔吐

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 3,021 人（定点当たり 60.1）で、前週比 80%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

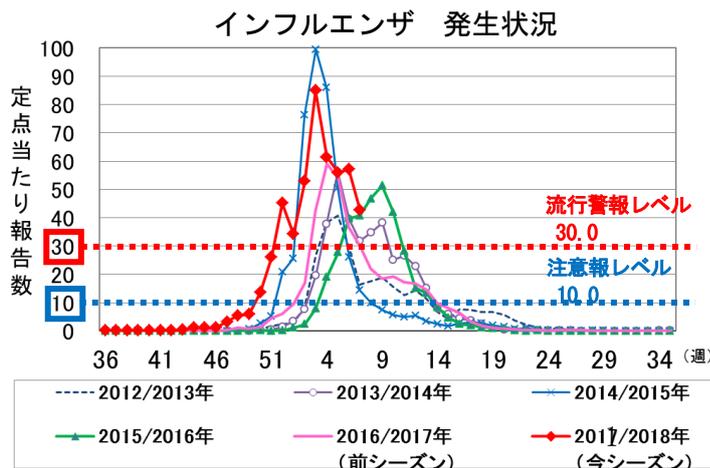
【インフルエンザ】

報告数は 2,518 人(42.7)で、前週比 76%と減少しているが、例年同時期の定点当たり平均値*(29.1)の約 1.5 倍である。小林(85.6)、延岡(55.1)、都城(50.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

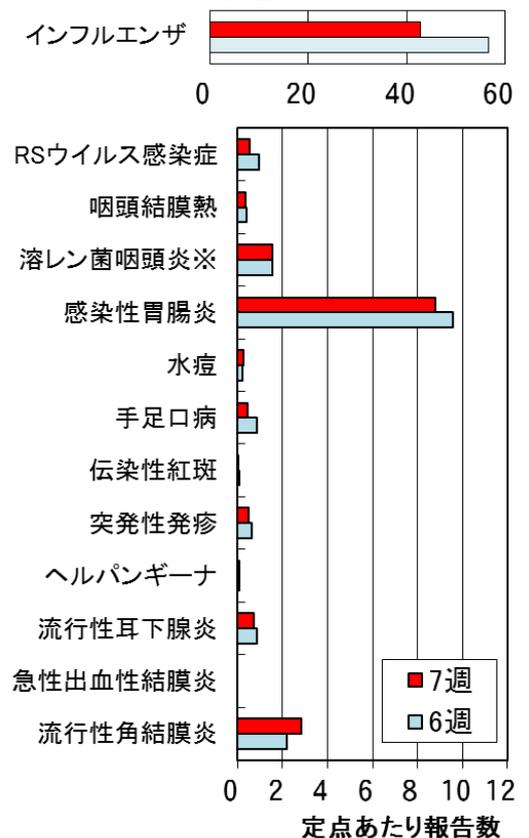
【流行性耳下腺炎】

報告数は 26 人(0.72)で、前週比 87%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.88)の約 0.8 倍である。ただし、日南(7.3)保健所からの報告が多く、2017 年 38 週(9 月中旬)に流行注意報レベル基準値(3.0)、49 週(12 月初旬)に流行警報レベル基準値(6.0)を超え、終息基準(2.0)を下まわっていない。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

報告数は9例で、日向(7例)、宮崎市(2例)保健所からの報告であった。いずれも10歳未満である。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(37.0)
都城	インフルエンザ(50.8)
延岡	インフルエンザ(55.1)
日南	インフルエンザ(35.4)、流行性耳下腺炎(7.3)
小林	インフルエンザ(85.6)
高鍋	インフルエンザ(31.0)
高千穂	インフルエンザ(13.5)
日向	インフルエンザ(26.3)
中央	インフルエンザ(28.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 6 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 6 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	295 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	9 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	11 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	4 例	レジオネラ症	22 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	22 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	57 例	水痘(入院例)	2 例	梅毒	59 例
	破傷風	2 例	百日咳	48 例	麻しん	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 85%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザである。

インフルエンザの報告数は 223,928 人(45.4)で前週比 84%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(29.0)の約 1.6 倍である。高知県(67.7)、山口県(62.8)、大分県(60.3)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第07週(02月12日～02月18日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3334	2518	592	508	386	177	428	186	27	158	56
	定点あたり	56.51	42.68	37.00	50.80	55.14	35.40	85.60	31.00	13.50	26.33	28.00
RSウイルス 感染症	報告数	34	19	5		1	3	1	5		4	
	定点あたり	0.94	0.53	0.50	0.00	0.25	1.00	0.33	1.25	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	13	6			1		4		2	
	定点あたり	0.42	0.36	0.60	0.00	0.00	0.33	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	56	12	10	3	2	16		2	9	2
	定点あたり	1.56	1.56	1.20	1.67	0.75	0.67	5.33	0.00	2.00	2.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	345	316	39	52	79	49	23	15	6	46	7
	定点あたり	9.58	8.78	3.90	8.67	19.75	16.33	7.67	3.75	6.00	11.50	7.00
水痘	報告数	7	9	1	1		4		1		2	
	定点あたり	0.19	0.25	0.10	0.17	0.00	1.33	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	30	16	11	2				3			
	定点あたり	0.83	0.44	1.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	1			1						
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	18	7		4	1	1	2		2	1
	定点あたり	0.61	0.50	0.70	0.00	1.00	0.33	0.33	0.50	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	3				3					
	定点あたり	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	30	26	2			22		1		1	
	定点あたり	0.83	0.72	0.20	0.00	0.00	7.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	17	13	3	1						
	定点あたり	2.17	2.83	4.33	1.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数										0.00	
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	11	9	2							7	
	定点あたり	1.57	1.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		7.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

* 第6週のインフルエンザの報告数は修正されています。

● 全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～7週)

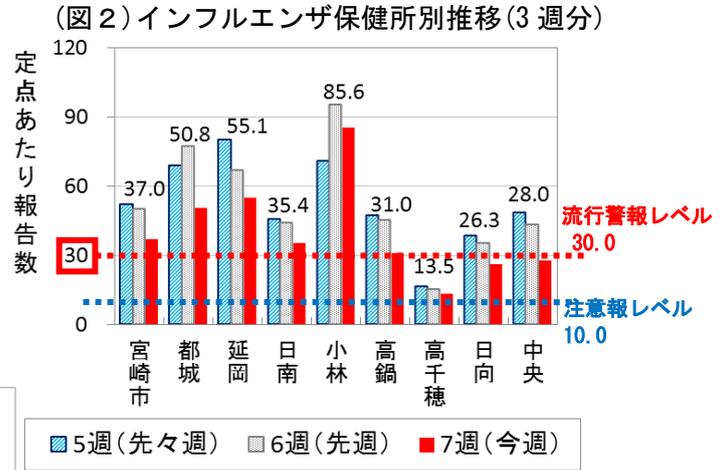
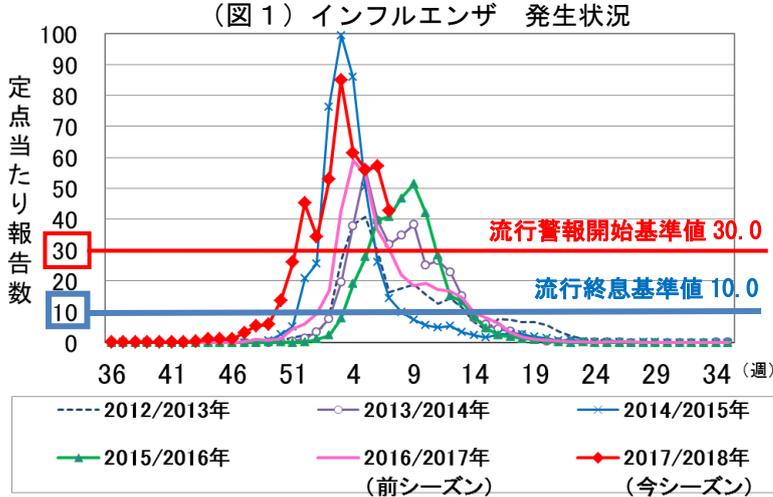
2類感染症	結核	24例(3)			
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	9例(3)	つつが虫病 1例
	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例	急性脳炎 4例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	4例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症 11例
	播種性クリプトコックス症	1例	百日咳	9例(2)	

()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第7週、全国第6週（再掲）》

□ 県内第7週インフルエンザ発生動向

2018年2月12日～2月18日までの1週間で2,518人（42.7）の報告があった。前週の約0.8倍と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*（29.1）の約1.5倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が31%、10-14歳が19%、15-19歳が6%、20-59歳が17%、60歳以上が8%を占めている（図3）。

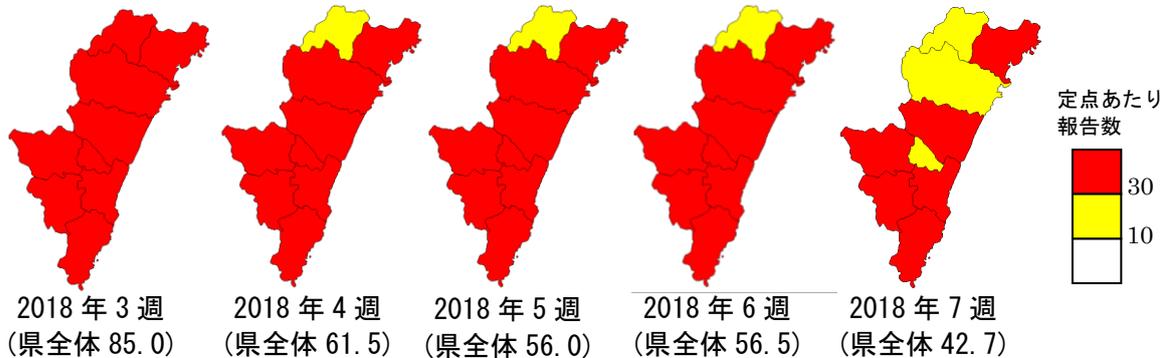


(図3) 年齢群別割合の推移(2018年第3週～第7週)

3週 5,013人	21%	34%	19%	4%	15%	7%
4週 3,629人	20%	34%	20%	5%	14%	7%
5週 3,305人	19%	36%	21%	5%	14%	5%
6週 3,334人	20%	35%	21%	5%	14%	5%
7週 2,518人	19%	31%	19%	6%	17%	8%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2018年第3週～第7週



□ 全国第6週インフルエンザ発生動向

2018年2月5日～2月11日までの1週間で223,928人（45.4）の報告があり、前週の約0.8倍と減少した。高知県（67.7）、山口県（62.8）、大分県（60.3）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の18%、5-9歳が33%、10-14歳が19%、15-19歳が5%、20-59歳が18%、60歳以上が7%である。